

2021年度 事業報告

福井武司理事長のもと、佐野春仁校長・桐浴邦夫副校長体制により学校運営・広報活動また学校外での活動を通して本校の認知度を上げる努力を行っている。

2021年当初、**新型コロナウイルス・オミクロン株の感染拡大による緊急事態宣言やまん延防止等重点措置等**の発令を受けて、入学式は規模縮小・時間短縮して挙行、授業も4～7月半ばまで**オンライン併用**などの対策を行った。その後、通常授業を再開。この新型コロナウイルスの影響により、昨年に引続き予定していた様々な行事(見学・市民講座・創立70周年記念式典など)が中止や延期となった。本校においても学生・教職員の感染者が出て混乱した年度となった。現在も朝と夕に机、手すり等の消毒、登校時の検温、教室の換気などの感染対策を継続して行っている。なお、2021年度より建築科二部及び伝統建築研究科では仕事などで登校できない学生のため、講義においては**オンライン併用**を続けることとした。

このような状況下ではあるが、従来同様、本校教育方針である「**建築の基礎力を身につけ、伝統や木造建築を理解し、現代に生かすことのできる建築のプロフェッショナルを育てる**」に準拠し、「**京都・伝統・木造**」を前面に出して、他校との差別化を図っている。また、前記教育方針に加え、「**伝統ある建築専門学校**」を全国的にアピールすることで高等学校や地域において広報活動の強化を継続する。ここ数年、建築科の入学生に伝統や木造、大工といった学びを目指す学生が増えており、建築科では大工技能に優れた入学生も見受けられる。今後もより意志を持った学生を集めることで本校の個性を強化し、特性を活かした教育を進め、磨きをかけていく。

新型コロナウイルスのため、思うように高校訪問が実施できてはいないが、**高校・組合との連携アップ・同窓会組織の有効活用**など本校を知ってもらうための活動を引き続き進めていく。組合・学園の**共同戦略会議**で提案された、京都府 林・材・建 青年会議所の事業として、学生参加による昨年春の京北合併記念の森での間伐体験に続き、製材体験を行った。なお、2021年度の建築科卒業制作木工チームでは、仁王門通りの長屋改修、中川の古民家改修、壬生川通りの長屋改修の3つのプロジェクトを行った。

2021年度卒業生53名巣立つ

建築科32名、建築科二部21名が卒業。昨年同様、新型コロナウイルス感染予防対策のため、卒業式を規模縮小、時間短縮して行った。

小規模校ならではの手作り教育

従来通り、学生数の少ない小規模校の特性を活かし、学生と教職員が一体となって建築を学び、豊かな教養を持った社会人として巣立つことを目標に日々の学校運営を進める。授業は、建築の基礎をきめ細かく教え、二級建築士が持たなければならない知識の習得に努めた。加えて、実習・演習はもとより、各授業でも本校の特色である「**京都・伝統・木造**」を盛り込んだ授業を展開する。また、従前からの資格取得のための対策講座に加え2021年度からは「**木造建築士**」取得を目指す「**ゼミ**」を開講。一人ひとりの個性を伸ばすゼミの開講、感性を伸ばし社会への適応力をつける課外活動なども積極的に進めた。さらに、学校生活に適応しにくい学生や不登校気味の学生への目配り、学力不足のための落伍者を最小限に食い止めるために、四半期毎に面談を行うとともに数学や力学の苦手科目克服の授業を開いている。

昨年度より実施している建築科の**卒業制作ゼミ**を今年度も継続。設計3グループ、木工3グループに分かれ、それぞれ担当の先生に熱を入れて指導していただいた。その成果は2月の卒業制作展にて展示を行った。

入学生の確保及び就職

入学生の確保

本校の教育方針を前面に掲げ、他校との差別化を図った学生募集を行った。

結果、2021年度の入学生は建築科では48名と昨年より2名増、建築科二部では31名で昨年より12名増と好調であった。二部同様**オンライン併用**とした伝統建築研究科では基礎講座14・教養講座19人・専門講座16名が受講した。

(2022年度入学生は建築科45名(3名減)、建築科二部29名(2名減))京都市内の高校における大学進学率の上昇傾向が顕著である

入学生確保のための実施事項

1. オープンキャンパスを25回開催した。(2020年度は21回)

- ・新型コロナウイルス感染予防対策を行いながら開催。たくさんの参加者があった。在校生を主体とする設計作品の紹介に加えて、初歩的な体験授業(木工体験、伝統建築見学体験、ミニ講義等)を行った。また、秋からは建築科二部の志願者を対象とした夜間の説明会を6回(昨年と同じ)開催した。

(参加者25名、昨年参加者24名、一昨年参加者26名)

- ・全参加者は161名(20141名19159名18176名17153名16154名15162名)
- ・感染予防により、オープンキャンパスへの参加者以外に**個別訪問**や**リモート**での個別相談も引続き行っている。

2. 学校案内及びホームページには学校や学生の活動を紹介。年々Net情報の重要度は高くなっており、ホームページには実習授業風景や堀川茶室制作、在校生へのインタビューなどの動画により、高校生や保護者等の関心を惹きつけるようにしている。

3. 新型コロナウイルスのため今年度も**高校訪問**を見送り、レターを個別に送るなどの代替案を講じた。

就職指導

1. 2021年度就職率は**93.9%**であった。(建築科 設11人施8人大11人進学1人他0人)

今後とも高い就職率が維持できるよう、就職ガイダンスや個人面談等、きめ細やかな支援体制の更なる向上を図る。

2. 2021年度も**243社**とたくさんの求人をいただいた。

(20245社19246社18244社17258社16285社15245社)

例年どおり施工管理の求人が多く、設計・大工の求人開拓が必要である。

3. 京都の企業人、卒業生による「ミニレクチュア」を数回行い、業種の紹介・就職指導等を行った。

学校行事の実施

学園祭「建工祭」

11月5日(金)～7日(日)の3日間、昨年と同じ堀川の丸太町橋下に茶室を設置し、学園役員、市民講座会員、卒業生および在校生家族の方々、通り掛かりの方々にお茶をふるまった。13年間続いている堀川茶会は今や恒例の秋の風物詩になりつつある。2021年度も多くのご参加をいただいた。

その他、よしやまち校舎での餅つき(学内対象)を行った。

卒業制作展

会場の都合で例年より少し早い時期2月18日(金)～2月20日(日)の3日間、『堀川新文化ビルディング イベントスペースNEUTRAL』（堀川商店街北端・一階は大垣書店）にて開催。卒業生や書店を訪れられた方等、多数の方々に見ていただいた。卒業式当日の卒業制作展示については新型コロナウイルス感染予防対策のため中止した。

資格試験対策など

1. 二級建築施工管理技術検定試験(第一次検定)対策講座〔在校生 無料〕

昨年同様、齋藤先生が担当となり、回数も19回開講した。

- ・開講期間 9月28日～11月12日
- ・第一次検定試験 11月14日(日)
- ・受験申込者19名 受験者19名 合格者10名 合格率52.6% (全国合格率48.8%) と全国平均を上回った。(昨年合格率21.7% 全国合格率35.9%)

2. 二級建築士受験対策講座〔卒業後 有料〕

・学科コース、製図コースを開講し合格率UPを目指した。

- ①学科受講者 23名 合否判明者18名 合格者11名
合格率61.1% (全国42.0%) [昨年合格率60.0% (全国41.4%)]
(担当 計画:菅原・構造:山口・法規:永良・施工:齋藤)
- ②製図受講者 17名 合否判明者13名 合格者7名
合格率53.8% (全国48.6%) [昨年合格率71.4% (全国53.1%)]
(担当:菅原・中)

3. 3D-CAD講習〔在校生は無料〕(担当:山口)

授業より一段進んだ3D-CAD上級コースの学習機会を与えるため夏休み中の夜間にリモートで5回開講。今年度よりソフトを変更し、Autodesk RevitとTwinmotionというソフトを使って講習を行った。(受講者 学生24名+先生1名+外部1名)

市民講座

新型コロナウイルス感染予防のためすべて中止

見学

1. 春の見学(中止) 明治村
2. 秋の見学(中止)
3. 上賀茂神社・大報恩寺・北野天満宮・三十三間堂・醍醐寺・東寺・西本願寺・他
(建築科1年 伝統建築演習)
4. 大角屋 草津本陣・日吉東照宮・旧竹林院・山紫水明処・京都御所・大徳寺玉林院 他
(伝統建築研究科 基礎/教養講座)
5. その他、設計製図、施工、設備、町家ゼミ等で見学あり

高等教育の修学支援新制度について

しっかりとした進路への意識や進学意欲があれば、家庭の経済状況に関わらず、大学や専門学校に進学できるチャンスを確保できるよう、文部科学省による、高等教育の修学支援新制度が2020年4月から実施され、本校も対象校となっている。